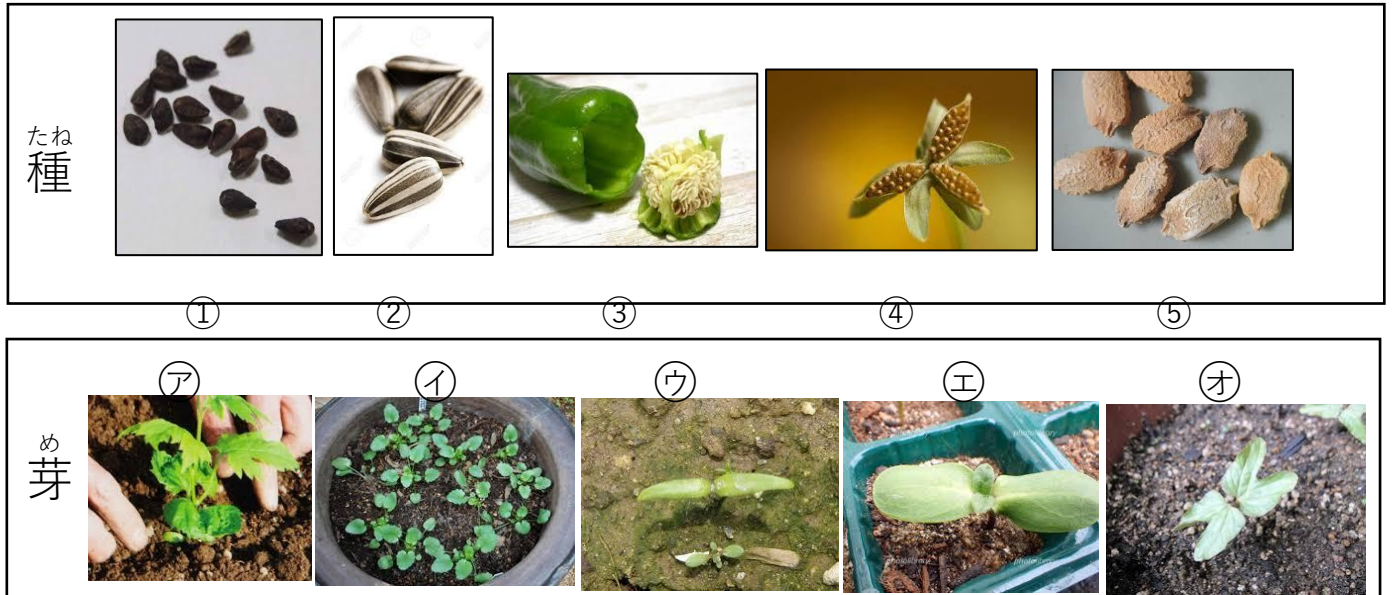


芽を出そう！

突然ですが、皆さんにクイズを出します。下の①～⑥の種は何の種でしょう。①～⑥の種を植えると、㊦～㊬の芽を出します。どの種がどの芽になるか、予想してみてください。



正解は次の通りです。

「①はアサガオで、㊩の芽」「②はヒマワリで、㊦の芽」「③はピーマンで、㊬の芽」「④はパンジーで、㊦の芽」「⑤はツルレイシ（ゴーヤ）で、㊩の芽」

種も、芽も、それぞれ特徴がありますね。「③ピーマン」のように、日頃、食べている野菜やくだものは種を観察しやすいので、注意してみてください。きっと発見があります。

おそらく大半の人が、学習や趣味で植物を育てる経験をしていることと思います。水やりをしたり、肥料を与えたり、支柱を立てたり、と、いろいろなお世話をしたのではないのでしょうか。芽を出すためには、欠かせないものや、あった方がよいものがありますね。

さて、私たち人間に対しても「〇〇さんは芸術分野で芽を出した」というように、才能を発揮することを「芽を出す」という言い方で表すことがあります。皆さんは、様々な分野で「芽」を出す可能性を秘めています。では、私たちにとって「芽を出すために欠かせないもの」とは何でしょうか。きっとそれらは、挑戦しようとする意欲や、練習を重ねる根気強さといった、気持ちのモチ方に関わるものが大半です。

今年度は、コロナ感染症拡大防止のため、学期ははじめから臨時休業になってしまいましたが、芽を出す上で問題になるものではありません。むしろこういうときだからこそ自分

でもおもいもよらなかった分野で芽が出せるかもしれません。家庭学習として、物語の創作
や、作曲等に取り組んで、芽を出すきっかけをつかんでくださることを期待しています。